

問題【国語】

次の(ア)～(ウ)の文について(1)、(2)の質問に答えなさい。

(ア) 鈴木先生が数学の先生です。

(イ) 鈴木先生は数学の先生です。

(ウ) 数学の先生は鈴木先生です。

(1) 「数学の先生は誰ですか」という質問の答えとして使うのは(ア)～(ウ)のうち、どれでしょうか。当てはまるものを全て選びなさい。

(2) 「鈴木先生が何の教科の先生ですか」という質問の答えとして使うのは(ア)～(ウ)のうち、どれでしょうか。当てはまるものを全て選びなさい。

豆知識 雑学コラム

「は」と「が」の使い分け

今回のテーマは助詞の「が」と「は」についてです。二つとも主語を表す役割をしている助詞です。しかし、「が」と「は」は全く同じものという訳ではなく、文によって使い分けをしていますよね。しかし、いざ違いを説明しようとするとなかなかうまくできないかもしれません。今回は具体的な場面から「が」と「は」の違いを見ていきましょう。

まず、何人かの先生がいてその中で「数学の先生は誰ですか」と尋ねられたときをイメージしてください。この場合、「鈴木先生が数学の先生です。」と答えますよね。では、「鈴木先生が数学の先生です。」の中で相手に伝えたいことはどこでしょうか。「誰ですか?」と尋ねられているため、「鈴木先生」がこの質問の答えの中心となる相手に伝えたいことですよね。このように「が」の前にくる主語を相手に伝えたいときに「が」を使います。

次に、様々な教科の中から「鈴木先生が何の教科の先生ですか」と尋ねられたときをイメージしましょう。この時は、「鈴木先生は数学の先生です。」と答えますよね。同じようにこの質問の答えの中心となる部分を考えて、「何の教科ですか?」と尋ねられているので「数学の先生」が答えの中心となる伝えたいことですよね。つまり「は」の場合、「は」の後ろにくる言葉を相手に伝えたいときに使うといえます。

簡単にまとめると下の通りです。

「AがB」… Aが伝えたいこと

「AはB」… 伝えたいことはB

「は」と「が」の使い分けが理解できましたか? どの助詞を使うかで相手への伝わり方が変わってきます。注意して使うようにしましょう。

【解答】

(1) (2) (4) (2)(1)